

令和8年2月1日

立教189年

2月号
第641号

宇仁 (うに)

発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

3月29日(日) 天理教少年会宇仁団総会



教祖百四十年祭 執り行われる

散歩道

▼微妙な時期に散歩道の執筆が当たってしまった。これを書いている今は、教祖一四十年祭を目前にして帰参の計画などを練っている最中であるが、この原稿が宇仁の人々の目に留まる頃には、年祭はもう過去のことになっていると思う。年祭への三年千日が「非常時」とするなら、これを読まれる頃は「日常」に戻っているということである。▼昨年末、大教会長様からある信仰初代の入信の動機を調べてほしいと頼まれた。明治の頃の資料を幾つか当たったが、おさづけの拝戴日は分かったものの、入信の経緯までは書かれていなかった。▼「日常」に戻った今、足元を見つめ直すため信仰の元一日を辿ることも大切になってくると思う。そんな時、我が家の信仰の元一日が書かれたものが残っていれば、これほど心強いことはない。スマホやネットが主流の時代だが、教会史や会報など紙の資料もまた大事であると思う。AIでは一信者の入信の動機まで答えてくれない…

一 理 塚

真柱様は年頭のあいさつで「三年千日の、いわば非常時から、普段の歩みに戻っていきま

す。しかし、普段に戻るといっても、三年前に戻ってしまったのでは何にもならないと思うのであります。年祭までの歩みが、年祭後、さらに充実した成人の歩みにつながるように、しっかりと心がけて、それぞれの立場でおつとめいただきたい。」と、次の節へ向かう心構えをお示し下されました。

確かに、教祖百四十年祭という節を超えることはできましたが、依然として続くロシアのウクライナ侵攻、アメリカによるベネズエラや、イランへの攻撃、グリーンランドの領有問題、中国や北朝鮮の脅威等、世界では不穏な動きが絶えません。又、地震・山林火災といった自然災害も増え続けています。国内でも物価の高騰、熊による人的被害、政界の混乱も見受けられます。真柱様も今後の行く末を案

じられていることでしょう。まだ大人の足りなさを感じずにはいられません。私たち用木は親神様の大きなご守護を頂いて生かされているということに感謝して喜び勇んで通らせて頂くことが、幸せにお連れ通り頂けると教えて頂きます。

さて、感謝とは、どのようなことを表す言葉なのでしょう。桜美林大学教授で臨床発達心理士の山口創氏は著書「人は皮膚から癒される」の中で『まず、「感」であるが、これは外部のものに触れて心が動くことをいう。人は境界を閉ざして何もせずにいると、何にも感じないということだ。次に「謝」という文字は「言」という字と「射る」という文字でできている。つまり、「言葉」を射る」即ち「言葉を発する」ということで、相手に何かしらの意志を言葉で伝えるという意味である。つまり、「感謝」とは「相手に対して心が強く動き、そのありがたいという気持ちを言葉にして伝えること」だといえる。』と、科学の進歩と共に欲望が限りなく暴

走して感謝の心が薄れていく現在、「周りの人達との境界を拓いて、互いに支えー支えられながら、皮膚感覚で相手を感じながら生きていくことの大切さを思わずにはいられない」と述べられています。

日々月々勤めさせて頂く「おつとめ」によって、まず、生かされているという、親神様の御守護に感謝し、身上事情で難儀している人々や、世界中の私たちの直接手の届かない、困っている多くの人々への助かりを心を込めて願い、つとめさせて頂くことが大切であると思います。

みかぐらうた二下りに
七ッ なんじふをすくひあぐれ
ハッ やまひのねをきらふ
おふでさきに、
なにゝてもやまいとゆうてさら
になし

心ちがいのみちがあるから

(三一九五)

とありますように、病気は、私たちの心得違いを知らせてくれるものだと教えて頂きます。

「私たちは陽気ぐらしをするために親神様によってお造り頂

いたのだという元」を知らないから、世界中の人が仲良くたすけ合うという陽気ぐらしに反する心づかい「自分さえ良ければよい」というわが身勝手な心を使うのであり、それが病の元になるのだと教えて頂きます。そこで病になって初めて生かされているという実感、ありがたいという喜びを味わうことが出来、他人に対して思いやりの心が生まれ、親切にすることができるよう

わたしたち用木はみんな元一日をたどれば親神様、教祖に助けられ、守られて、その御恩を忘れず、信仰の道を歩ませて頂き、心身ともに今日の結構な姿を見せて頂いているのですから、この姿を子供や孫といった次の世代へ繋げていくことが御恩報じであり、大切な使命なのです。次の年祭に向かって親神様、教祖に喜んで頂けるよう勇んでつとめさせて頂きましょう。みなそろではやくつとめをするならば

そばがいさめバ神もいさむる

(一一一一)

少年会宇仁団より マツケンサンバで遊ぼう!!
工作&ダンスレッスンのご案内

三月に開催予定の少年会総会で、ウーニーバンドの演奏に合わせて、みんな大好き「マツケンサンバⅡ」を参加者全員で踊りたいな〜という企画を考えました。

に向けて準備も楽しんでいきま
しょう！

○日時 二月二十二日(日)

● 十時～十一時

（九時半受付開始、カレーを食
べて自由解散）

○場所 宇仁大教会にて

○締切
・二月十九日(木)

(当日飛び入り参加OK)

○お申込みお問合せは

原田隊長まで

090-3616-3271

という事でその前に、マツケンの後ろで踊っているお姉さま方の持っている棒（マツケン棒）とマラカスをみんなでいっぱい作る日を設定しました。その後ダンスの練習もしますのです、子供も大人もぜひご参加を。総会



おどろろ!! つくろろ!!

マツケン サンバⅡ

in 宇仁大教会

**令和8年
2月22日(日)**

10:00~12:00 (9:30 受付開始)

お昼ご飯を食べる自由解散

内容

おつとめ学が総会にてマツケンバンド演奏予定の
「マツケンサンバⅡ」を楽しくするために、
世界に1つだけのアイテム作りを挑戦!!
作ったアイテムを使い音楽に合わせて盛りあがろう!!

- ① マツケン種作り
- ② マウカスイ作り
- ③ マツケンサンバⅡ振子付クレヨカー



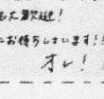
お申し込み方法

下記の申込書を大教会楼下
小野町分教会の種入
箱へ2月19日(土)
(振込締め2月20日!!)

お問い合わせ先
団長 原田 信一
(090-3616-3271)

今年会員のみなさん!ぜひお申し込みください!!
まだお申し込みの方!!ぜひお申し込み!!
お申し込みのご連絡先にお持ちください!!

おれ!!

参加申込書

所属教会	登録員名	登録員連絡先	年齢(学年)
今年会員登録者(ふりがな)			
			年少 年中 年長 小学 幼児
			年少 年中 年長 小学 幼児
			年少 年中 年長 小学 幼児

天理教少年会宇仁団總會

立教189年3月29日(日)

受付：午前9時

内容：開式(10時)

◎祭儀式

◎おつとめ

◎総会式

◎お楽しみ行事

· 模擬店

• 鼓笛隊演奏

・大抽選会

解散予定：午後3時ごろ

座りづとめ・よろづよ八

教会・布教所子弟、直属

1・2下り目

神福部内

3・4下り目

豊原部内

5・6下り目

中河合部内



『宇仁会報に見る大教会史』 第95回

⑥平成という時代

(8)

教祖百十年祭が執行された平成八年は、「年祭の年として一年中おぢばをにぎやかに」とのお打ち出しがあり、一年を通しておぢばがえりを中心とした動きが活発化する。この点に関しては、令和七年とよく似ている。ただ年祭の年と仕上げの年との違いはあるが…。

宇仁大教会では、この年の心定めとして『おぢばがえり二万人』『修養科生百十人』『別席者五百人』を提唱した。

大教会長様は年頭挨拶で「何を見ても、何を聞いても喜びの心になれるよう、心の成人にとめさせて頂き、年祭の年をより意義あらしめなければならぬ」と思いを述べられている。この年の夏のこともおぢばがえりは、七月二十六日から八月五日まで十一日間に延長して行われたが、残念なことに0-15

「教祖と歩む三年千日」
教会布教実動報告

大西協分教会会場

布教日 一月十日(土)

参加者数 六名(内小人三名)

会場 教会周辺

内容 ポスティング

所感

寒い中でしたが、大人と小人一名ずつペアになって、町内を散歩がてら楽しくゴミ拾いとポスティングをさせて頂きました。



おぢば通信

十二月のうごき

◎初 席 者

兵庫中央

松井幸子

守野正子

久 樹

頼正 芬

◎おさづけの理拝戴

鍛冶屋

川福井美佳

二月行事予定表

豊原	平田美律子
久下智子	津田美由紀
藏元とし子	松岡準人
大南結梨	西野光咲
著三門	今中隆之
◎修養科終了	
◎教人登録	
豊原 高島絵美	
◎十二月帰参者	一七九名 (詰所調べ)

6日	青年会例会
9日	婦人会例会
22日	少年会例会
24日	大教会月次祭 午前十時三十分執行
26日	本部月次祭 午前九時執行

婦人会より

◇大教会炊事当番

2月 中河合
3月 豊原
4月 神福A

よろしく

お願いします